

戦国絵巻

びわがたり

第一幕

豊家に捧げし誠忠

筑前琵琶演奏

田中旭泉

講演

飯沼暢康

(関ヶ原町歴史民俗学習館 館長)

～筑前琵琶演目～

「関ヶ原」
「石田三成」



八百津町合併70周年記念事業

第17回 筑前琵琶演奏会

日時：令和7年10月11日(土) 午後1時30分開場／午後2時開演

入場料：500円 令和7年9月9日より入場券販売開始(取り扱い 八百津町ファミリーセンター及び役場各出張所)

会場：八百津町ファミリーセンター 大ホール

主催：八百津町教育委員会 後援：古典の日推進委員会 助成：とうしん地域振興協力基金

資料提供：関ヶ原町歴史民俗学習館(関ヶ原町)

古典の日とは…源氏物語千年紀を記念して2008年11月1日に京都で宣言され、毎年11月1日を古典の日とし、古典に親しむことにより心豊かで文化的な社会を実施することを目的としている。



古典をいただき
古典に抱かれて
古典の日

びわがたり 戦国絵巻 - 第一幕 豊家に捧げし誠忠 -

戦いの中、自らの立場より“人として、あるべき様を貫いた杉原千畝
そのゆかりの町・八百津町で今、戦国の世を生きた人々に思いを馳せる
幾歳を経ても、戦いの中で繰り広げられる人間の情は、なんら変わらない
いにしえの人々からのメッセージを琵琶の語りを通して享受する

関ヶ原

秀吉亡き後、徳川家康が勢力を増し、大阪城の礎も揺るぎ始めました。最後まで豊臣家にとどまった石田三成は、家康が豊臣家にとって代わろうとする下心を見抜き、上杉景勝、毛利輝元、小早川秀秋ら、西国方の諸大名を従えて家康を滅ぼそうと旗揚げしました。上杉征伐に向かおうとしていた家康も、避けられない三成との戦いに東海道を馳せのぼり、慶長五年九月十五日、関ヶ原にて石田三成率いる西軍と相対します。激戦の中、小早川秀秋の裏切りにより、西軍の形成は傾き、東軍の大勝利に終わります。天下分け目の関ヶ原の合戦です。

石田三成

関ヶ原の戦いで敗れた西軍の主将石田三成は、豊臣家の再興を計るために一旦古橋の里に身を隠しましたが捕らえられ、大津の宿の門外に晒されました。多くの敵将がその三成の姿を見て嘲り笑う中、黒田長政はそっと自らの陣羽織を三成の背に着せ会釈して通り過ぎ、その深い情けに三成は暗涙を浮かべます。佐和山城下より山々を越えやってきた老婆が誠のしるしと柿を捧げました。最後まで豊臣家に捧げた三成の心の内は奥ゆかしく、後の世までも伝えられます。

筑前琵琶奏者

田中 旭泉 TANAKA KYOKUSEN

昭和45年 福井にて出生。
昭和51年 琵琶の収集家であった祖父の影響を受け、矢吹旭津美師匠に琵琶を習いはじめる。
平成5年 矢吹旭津美師匠他界後、山崎旭萃師匠(重要無形文化財保持者)の直弟子となる。京都にていづ美會を主宰。琵琶奏者の登竜門となる「第30回琵琶楽コンクール」にて最年少優勝。文部大臣奨励賞、日本放送協会会長賞など受賞。
平成6年 筑前琵琶日本橋会師範免状取得。
平成7年 大阪文化祭奨励賞受賞
平成8年 咲くやこの花賞受賞
平成11年 フランス・ドイツ公演(NHKインターナショナル・フランス日本文化会館・ドイツ日本文化会館主催)
平成13年 拠点を京都から岐阜に移し、芸道の研鑽を重ねる。
令和4年 恵那にて子ども琵琶倶楽部を始める。
令和6年 岐阜県芸術文化顕彰受賞
令和7年 八百津町合併70周年記念 学術文化功労表彰
今までに、小川旭典師匠、山下旭瑞師匠、箕浦旭声師匠の稽古も受ける。古典の日フォーラムなど多数出演。娘 旭粹・息子 自然との親子共演も好評を博している。
岐阜県八百津町在住



講師(歴史解説)

関ヶ原町歴史民俗学習館
館長

飯沼 暢康

IINUMA NOBUYASU

昭和32年(1957)、垂井町に生まれ、岐阜大学教育学部史学科に進み、野村忠男教授について日本古代史を学ぶ。卒業後、岐阜県小中学校教員となる。

途中、2年間兵庫教育大学大学院に学び、教育修士を取得した。また平成6年、岐阜県文化財保護センターへ派遣。7年間、県内の埋蔵文化財発掘調査に携わった。特に、揖斐郡池田町で発見された未盗掘の南高野古墳の調査では、大量の遺物が出土し、中学校歴史の教科書にも掲載された。

平成29年(2017)3月、垂井町立宮代小学校校長を退職後、関ヶ原町歴史民俗資料館(現在の学習館)及び不破関資料館に館長として勤務。関ヶ原合戦や壬申の乱・不破関に関わる講演を多数行っている。

講演(演目解説)

公演中に演目について歌詞の内容や、歴史の舞台背景などを解説し、皆様に曲の世界観についてイメージを深くもって演奏を楽しんでいただけます。



日時: 令和7年10月11日(土)

午後1時30分開場 午後2時開演 午後4時終演予定

場所: 八百津町ファミリーセンター 大ホール

入場料: 500円 令和7年9月9日より入場券販売開始

(取り扱い 八百津町ファミリーセンター及び役場各出張所)

主催: 八百津町教育委員会

後援: 古典の日推進委員会

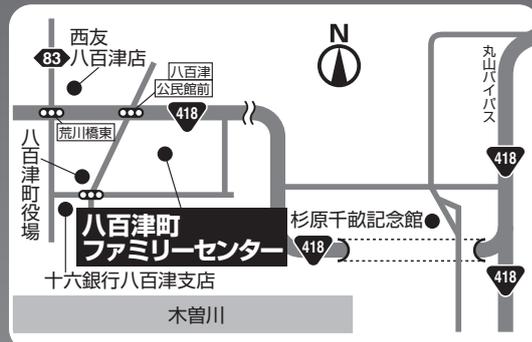
助成: とうしん地域振興協力基金

資料提供: 関ヶ原町歴史民俗学習館(関ヶ原町)

お問合せ: 八百津町教育委員会 電話 0574-43-0390 FAX 0574-43-0372

メール shakyo@town.yaotsu.lg.jp

交通案内



お車の場合

東海環状自動車道「可児御嵩I.C」から
県道83号線「やおつトンネル」経由10分